

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)東成区大今里南5丁目マンション新築工事				
建設地	東成区大今里南5丁目				
建築用途	共同住宅				
建築主					
設計者					
敷地面積	736.01	m ²			
建築面積	305.24	m ²			
延床面積	2,381.84	m ²			
構造/階数	RC造	/ 地上10階			
完了年(予定)	2025年1月				

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)									
B- BEE=0.7 S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★★		☆☆☆☆☆ 30%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆ 100%:☆☆ 100%超:☆ 標準計算 <table><tr><td>①参照値</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>95%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>95%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>95%</td></tr></table> このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです		①参照値	100%	②建築物の取組み	95%	③上記+②以外の	95%	④上記+	95%	ラベル表示 有	
①参照値	100%												
②建築物の取組み	95%												
③上記+②以外の	95%												
④上記+	95%												

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8		Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8	
Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 1.9			
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2		LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4	
LR3 敷地外環境 LR3のスコア=2.5			

3 設計上の配慮事項		
総合 バルコニー手摺はガラスとし、デザイン性を高めると共に周辺環境と調和するよう努めます。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用します。又、昼光率の高い居室の設計に配慮した開口の設定を行っています。	Q2 サービス性能 設備配管における耐用年数の確保。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 照明器具にLEDを使用。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 特になし。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.1
配慮事項	ライフサイクルCO2に配慮	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	等級3相当	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.7
配慮事項	照明器具にLEDを使用	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.93	0.93
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-